

2015年4月6日

報道関係者各位

株式会社LSIメディエンス
ピースマインド・イーブ株式会社

職場のストレスチェック義務化対応ソリューションの提供で基本合意 ～企業向けメンタルヘルスソリューションを両社でパッケージ化～

株式会社生命科学インスティテュート（社長：木曾誠一、本社：東京都千代田区）グループの株式会社LSIメディエンス（社長：吉原伸一、本社：東京都千代田区、以下「LSIメディエンス」）とピースマインド・イーブ株式会社（社長：荻原国啓、本社：東京都中央区、以下「ピースマインド・イーブ」）は、本年12月1日から施行される従業員のストレスチェック義務化への対応として、両社のプログラム、コンサルティング、サービスをパッケージ化し、企業をサポートする総合的なソリューションを提供することについて基本合意に達しましたのでお知らせします。これにより導入企業は、導入・運営サポートから、ストレスチェック、面接指導体制を一気に構築できるばかりでなく、本来必要な職場環境改善や従業員のメンタルヘルスの向上に対する具体的な支援サービスまでを受けることができ、コンプライアンスを満たしつつ、職場の生産性向上につなげることもできると考えます。

昨年6月に可決・成立した改正労働安全衛生法は、産業医の選任が義務づけられている従業員数50人以上の事業場に対して、医師又は保健師、その他の厚生労働省令で定める者（以下「実施者」）による労働者の心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）等の実施を義務づけるものです。ストレスチェックはメンタルヘルス不調の一次予防として、本人のストレスへの気づき、職場環境の改善、および高ストレス者に対する医師による面接指導が必要ですが、ストレスチェックの実施者の負担が増え、現状の体制では十分な対応ができないケースが急増することも予想されます。また、従業員がメンタルヘルスに関する相談をする場合に独立した外部相談機関を希望すると予想されるなど、これまでの健康管理体制とは異なる対応が求められると考えられます。同法が施行される本年12月までには時間的余裕が少ないことから、各企業は、運営が簡便で信頼性が高く、ワンストップの充実したソリューションを待望していると考えられます。こうした中、LSIメディエンスとピースマインド・イーブは、LSIメディエンスが開発するメンタルヘルスプログラム「ココロのじぶんケアプログラム」とピースマインド・イーブが長年に渡って提供し続けてきたメンタルヘルスサービスおよびノウハウとをパッケージ化し、総合的なソリューションとして企業の人事・健康管理部門へ提供してまいります。

LSIメディエンスは、企業における健康確保対策の第一者である亀田高志先生（株式会社産業医大ソリューションズ、本社：福岡県北九州市、産業医科大学設立、代表取締役社長）のご指導を仰ぎつつ、富士通株式会社（社長：山本 正巳、本社：東京都港区）の協力を得て、同社の販売実績のあるメンタルヘルスに関するサービスをベースに独自のメンタルヘルスプログラム「ココロのじぶんケアプログラム」を開発・上市いたします。「ココロのじぶんケアプログラム」はWEB上で簡便に利用可能とするとともに、LSIメディエンスが2015年3月に発表したICT端末「じぶんケア・ステーション」に同プログラムを搭載し、運用負荷の高いマークシートでのストレスチェックではなく、ペーパーレスでのストレスチェックの実施を可能にします。また、企業の健康管理の様々な場面で便利にご活用いただけるように、卓上への設置や持ち運びを可能とした「じぶんケア・ステーション」ミニ版を準備します。

一方、国内・グローバル企業などの国内560の団体にEAP（従業員支援プログラム）を展開する業界のパイオニアであるピースマインド・イーブは、LSIメディエンスが開発した「ココロのじぶんケアプログラム」を導入した企業に対し、ストレスチェック後の様々なソリューションの提供を担当します。ストレスチェックの解析結果に対しての適切なアドバイス、ストレスに起因する生産性低下を未然に防ぐ職場改善プログラム、外部機関相談窓口の設置、日頃の心力アップ（レジリエンスビルディング®）、ラインケア教育などの各種研修サービスや復職プログラムなど、ピースマインド・イーブの15年以上に渡る専門知識を活かし、従業員のストレス対処や職場改善に幅広く対応可能なソリューションを提供いたします。

LSIメディエンスは、これまで臨床検査を基盤として、企業の健康検診支援業務を行ってまいりましたが、今後は職場のストレスチェック義務化を契機としてメンタルヘルスサービス分野に本格的に参入してまいります。また、ピースマインド・イーブは、これまで培ってきた従業員の皆様へのメンタルヘルスサービスを、さらに拡大・発展させて、企業の健康経営を支えてまいります。

【株式会社LSIメディエンス】

本社所在地 : 東京都千代田区内神田 1-13-4 THE KAITEKI ビル
代表取締役社長 : 吉原 伸一
資本金 : 30 億円
売上高 (連結) : 802 億円 (2014 年 3 月期)
従業員数 (連結) : 3,520 名 (2014 年 3 月期)
事業内容 : 臨床検査(生化学的検査、血液学的検査、免疫学的検査、微生物学的検査、遺伝子検査、病理学的検査、その他検査)、予防医学関連サービス、医療関連サービス、体外診断用機器・試薬等の開発・製造・販売及び輸出入、医薬品開発支援サービス(医薬品探索支援・非臨床試験・臨床試験)、ヒト細胞による薬効・毒性評価、バイオマーカー測定と解析(タンパク質・遺伝子)、医薬・農薬・化学品・食品添加物・化粧品等における安全性評価・環境影響評価サービス、食の安全サポート、ドーピング検査

【ピースマインド・イーブ株式会社】

本社所在地 : 東京都中央区銀座 3-10-6 マルイト銀座第 3 ビル 8F
代表取締役社長 : 荻原 国啓
資本金 : 9,025 万円
事業内容 : 心理・行動科学アプローチによる「人と組織のレジリエンスビルディング®」を提供するコンサルティング企業。社員と組織の生産性向上をサポートするEAP(従業員支援プログラム)を中心に、国内外の560社を超える企業にサービスを展開するEAP業界のリーディングカンパニー。

【本件に関するお問い合わせ先】**<プレスリリースに関するお問い合わせ>**

株式会社LSIメディエンス 広報担当: 中野 TEL: 03-5577-0401

ピースマインド・イーブ株式会社 広報担当: 横山 TEL: 03-3541-8656

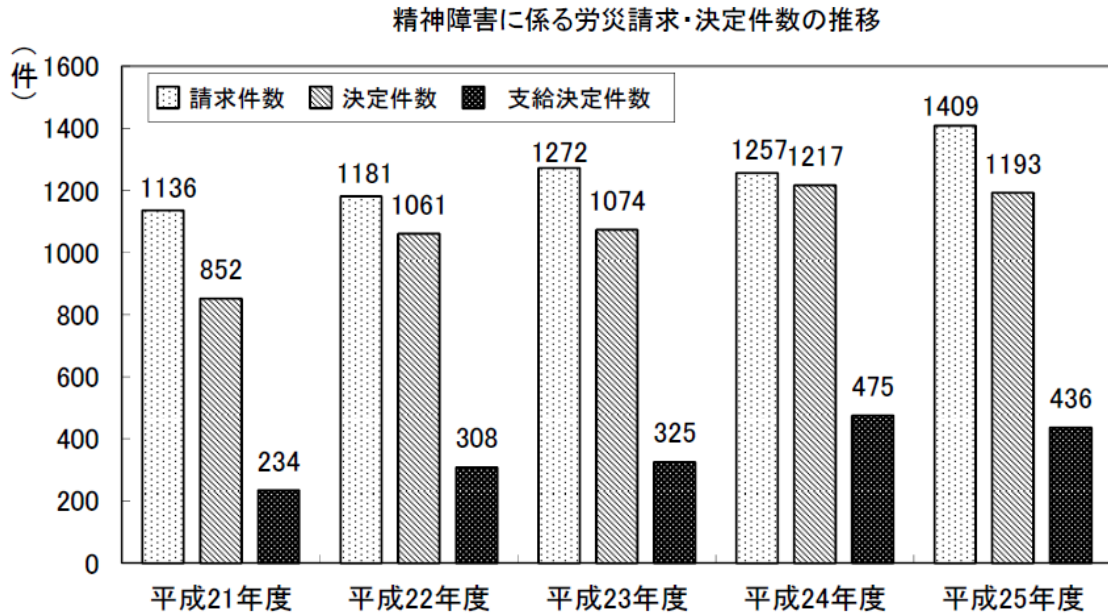
<製品・サービスに関するお問い合わせ>

株式会社LSIメディエンス 診断検査事業本部 健康検診事業部 TEL 03-5577-0611

ピースマインド・イーブ株式会社 ソリューション・デザイン本部 TEL: 03-3541-8656

【参考資料】

■精神障害による労災請求・決定件数は増加傾向にある。



資料：平成25年度「脳・心臓疾患と精神障害の労災補償状況」（厚生労働省）

■職業生活で強いストレスを感じた労働者は6割。

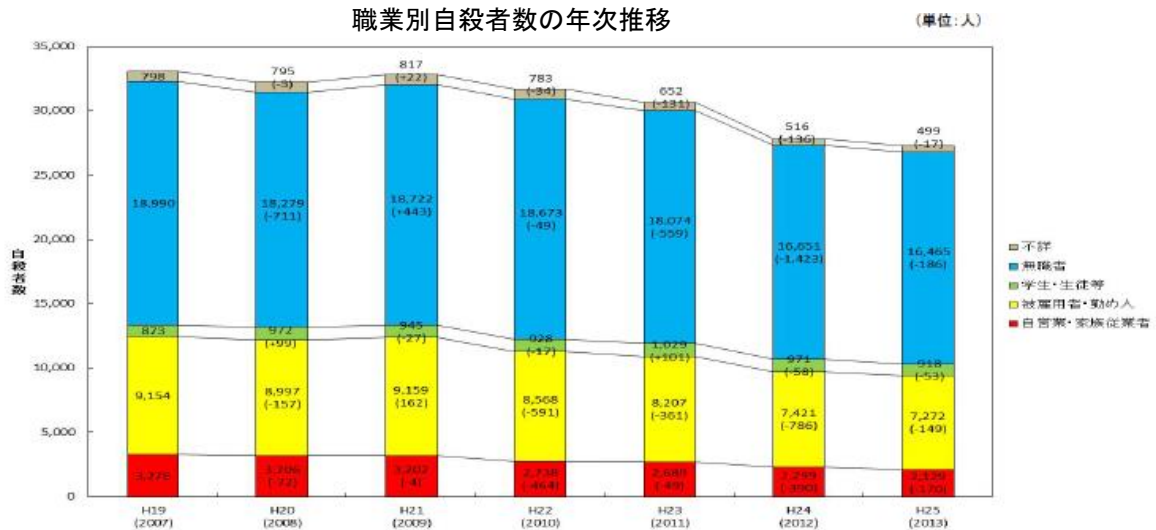
仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレスの有無及び内容別労働者割合

(単位：%)

区分	労働者計	強い不安、悩み、 ストレスがある	強い不安、悩み、ストレスの内容（3つ以内の複数回答）											強い不安、悩み、 ストレスがない	不明		
			仕事の質の問題	仕事の量の問題	仕事への適性の問題	職場の人間関係の問題	昇進、昇給の問題	配置転換の問題	雇用の安定性の問題	会社の将来性の問題	定年後の仕事、 老後の問題	事故や災害の経験	その他			不明	
平成24年	100.0	60.9	(100.0)	(33.1)	(30.3)	(20.3)	(41.3)	(18.9)	(8.6)	(15.5)	(22.8)	(21.1)	(2.1)	(8.2)	-	39.1	-
男性	100.0	60.1	(100.0)	(34.9)	(33.0)	(19.6)	(35.2)	(23.2)	(8.7)	(12.8)	(29.1)	(22.4)	(2.3)	(6.0)	-	39.9	-
女性	100.0	61.9	(100.0)	(30.9)	(27.0)	(21.0)	(48.6)	(13.7)	(8.3)	(18.7)	(15.0)	(19.6)	(1.9)	(11.0)	-	38.1	-
(就業形態)																	
正社員	100.0	64.1	(100.0)	(35.0)	(32.9)	(20.8)	(37.9)	(21.3)	(10.1)	(9.7)	(26.5)	(21.4)	(1.9)	(7.7)	-	35.9	-
契約社員	100.0	62.7	(100.0)	(26.4)	(25.8)	(21.2)	(40.4)	(18.7)	(2.2)	(44.2)	(12.0)	(29.4)	(4.2)	(8.5)	-	37.3	-
パートタイム労働者	100.0	45.3	(100.0)	(28.1)	(20.5)	(13.6)	(64.1)	(6.2)	(5.7)	(20.6)	(10.5)	(13.6)	(1.7)	(11.0)	-	54.7	-
派遣労働者	100.0	68.1	(100.0)	(27.1)	(13.0)	(35.7)	(37.3)	(9.6)	(0.0)	(60.4)	(3.8)	(15.7)	(1.7)	(7.1)	-	31.9	-
臨時・日雇労働者	100.0	48.6	(100.0)	(-)	(31.3)	(25.5)	(41.8)	(0.2)	(1.0)	(34.7)	(37.8)	(34.0)	(8.4)	(26.7)	-	51.4	-
平成19年	100.0	58.0	(100.0)	(34.8)	(30.6)	(22.5)	(38.4)	(21.2)	(8.1)	(12.8)	(22.7)	(21.2)	(2.3)	(9.3)	(0.1)	41.2	0.8

資料：平成24年「労働者健康状況調査」（厚生労働省）

■自殺者の約3割が被雇用者・勤め人である。

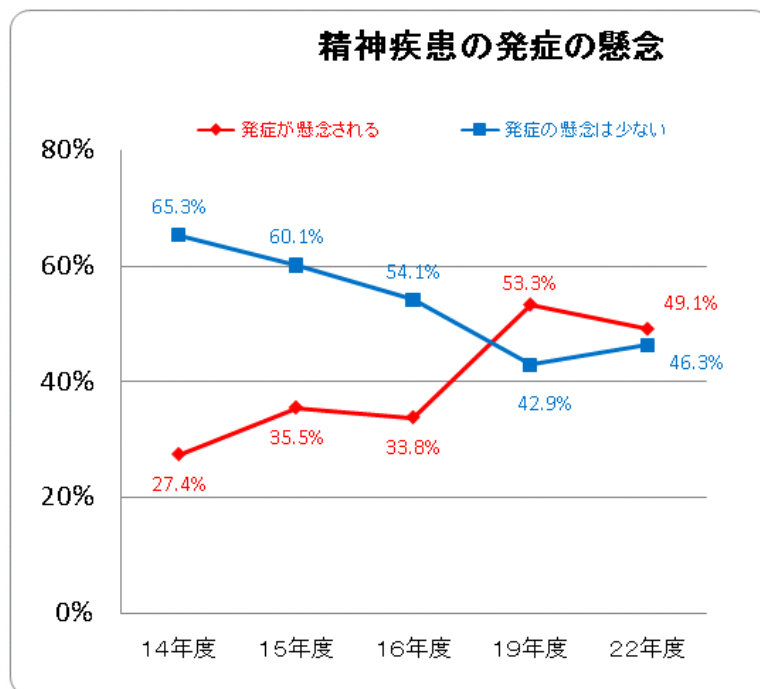


注1)平成19年に自殺統計原票を改正し、職業の分類が改められた。
注2)グラフ中の値は、上段が自殺者数、下段が対前年差である。

資料:警察庁自殺統計原票データより内閣府作成

資料: 「平成25年版自殺対策白書」(内閣府)

■過重労働による精神疾患の発症が懸念されると回答した企業は、平成14年度には3分の1未満であったが、平成22年度には約半数にまで増加している。



資料:平成22年度「従業員の健康管理等に関するアンケート」調査結果(東京労働局)